



## あなたの“子育て観”!

10号でお寄せいただいた読者のみなさんからのご意見を紹介します。たくさんのご意見ありがとうございました。自分以外の考え・対応を発見し、子育てのヒントにしてください。

第3回

## 子どもの生活リズムを考えていますか?

～大人の時間・子どもの時間～



### エピソード

24時間営業のスーパーでの出来事です。

夜の11時を少し過ぎた頃、幼稚園の年長さんとオムツのはずれていない兄弟を見つけました。昔は「大人の時間・子どもの時間」というのがあったけど、今はなくなってしまったのでしょうか。

エピソード出典：親学習プログラムアレンジ版（平成21年3月発行）とちぎ家庭教育支援事業運営協議会 栃木県教育委員会（右記URLよりダウンロードできます。） <http://www.pref.tochigi.lg.jp/education/shougai/suishinjigyoku/1245823776490.html>

## あなたの子育て観は!?

(1) もしあなたが幼い子どもたちを23時過ぎに見かけたら、どのような行動をとりますか？

### 子どもに声をかける

- ・「家に帰ったら早く寝ようね」
- ・子どもだけだと心配なので、一緒にお菓子を選んで親を待つ

### 子どもに声をかけない

- ・家庭の事情があるのだから、踏み込まない
- ・トラブルに巻き込まれたくない
- ・知らない子に声をかけるのは抵抗がある

皆さんから送っていただいた意見は、声をかける・かけない共におよそ同数でした。また共通する意見として「近くに親がいるか確認をする」「怪我をしないかどうか見ている」など、子どもを見守る意見が数多くありました。社会全体で子どもを見守ることは、より良い子育てに欠かせないものです。

一方で、このエピソードは「忙しい親への配慮がたりないのではないか」と疑問をもった意見がありました。理由は、早寝早起き朝ごはんの大切さは分かっているけど、仕事などの事情で子どもの生活リズムをなかなか整えることのできない親を、追い込むことを危惧しているものです。仕事と生活で張りつめた状態の親に対し、現在の頑張り認め、そして共感するといった配慮は間違いなく必要です。しかし、子どもが遅い時刻まで起きていることは、その子の育ちにとっても悪い影響を与えることも同時に考えていく必要があります。

今回、多くの方から意見をいただいたことは、子育てをしている家庭に対する皆様の関心の高さの表れだと思います。社会全体で子育てをしている親を応援することは、とても大切です。

(2) あなたの家庭では、「大人の時間・子どもの時間」の区別はありますか？その区別は何時頃で、お子さんにどのように働きかけていますか？

子どもが寝る時間を境にして区別があるとの意見が多くありました。区別の時間については、20時～21時頃（園児がいる家庭）、21時～21時半頃（小学生がいる家庭）との意見が多くありました。また、働きかけについては、本を読む、時間になったら強制的に寝かせるという意見や、特に区別はなく、子どもの時間に合わせて親も一緒に寝るといった意見もありました。親と一緒に寝てしまえば、子どもは夜更しができなくなりますね。

いただいた意見のように、もう寝る時間だと分かるようにしてあげると、健やかな成長をもたらす「子どもの時間」というものを作ることができそうです。